

令和 8 年度の MIDI 検定 3 級、2 級筆記試験の範囲について

□令和 8 年度の試験範囲は、公式ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック【2023 年改訂】～MIDI 検定公式ガイド～」からの出題となり、旧ガイドブックは使用できません。

各級の試験範囲は下記の通りです。

・令和 8 年度の 3 級出題範囲（2023 年改訂版ガイドブックのみが使用可となります）
MIDI 検定 3 級では「音楽制作の基本的知識」を目安に、下記の項目から構成される内容を学習目標とします。

■CHAPTER 1 音と音の記録～音楽制作の変化
音の記録と再生、音楽制作の変化（1-5、1-6 の内容）

■CHAPTER 2 音楽制作にまつわる機材の知識
コンピューターに関する知識（2-1 の内容）
オペレーティングシステムの知識（2-2 の内容）
その他の端末に関する知識（2-3 の内容）
周辺機器の知識（1）【さまざまな接続形式】（2-4 の内容）
周辺機器の知識（2）（2-5 の内容）
DAW について（2-6 の内容）
プラグインソフトウェアについて（2-7 の内容）
その他のソフトウェア（2-8 の内容）
アナログ伝送の知識（2-9 の内容）
デジタル伝送の知識（2-10 の内容）
ケーブルとコネクタの種類（2-11 の内容）

■CHAPTER 3 MIDI について
MIDI 1.0 の基礎（1）（3-1 の内容）
MIDI 1.0 の基礎（2）（3-2 の内容）
MIDI 1.0 の基礎（3）（3-3 の内容）

■CHAPTER 4 MIDI と音楽表現
イベントリスト、ピアノロール、スコア表記、ドラムパーカッションの演奏データ（4-1、4-2、4-3、4-4 の内容）
代表的な演奏表現（4-5 の内容）

セットアップデータの重要性と作り方（4-6 の内容）

■CHAPTER 5 デジタルオーディオの知識

代表的なオーディオファイル（5-2 の内容）

■CHAPTER 6 電子楽器の知識

アナログシンセサイザー（6-1 の内容）

・令和 8 年度の 2 級 1 次出題範囲（2023 年改訂版ガイドブックのみが使用可となります）
MIDI 検定 2 級 1 次では「音楽制作に関する実務を行う知識ならびにその技術」という点に注目し、下記の項目から構成される内容を学習目標とします。

CHAPTER9 を除く全ての CHAPTER の内容